



平成24年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社チノー 上場取引所 東  
 コード番号 6850 URL <http://www.chino.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻谷 嵩夫 TEL (03) 3956-2115  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼社長室長 (氏名) 斉藤 卿是 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,061	30.9	156	—	157	—	32	—
23年3月期第1四半期	3,101	18.9	△106	—	△106	—	△113	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 75百万円 (-%) 23年3月期第1四半期 △278百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	0	76	—	—
23年3月期第1四半期	△2	65	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,279	13,379	62.9
23年3月期	20,527	13,541	62.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 12,757百万円 23年3月期 12,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	0	00	—	—	5	00
24年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	—	0	00	—	—	7	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	8,400	16.4	460	199.8	460	339.1	270	—	6	29
通期	17,800	8.7	1,200	55.1	1,180	64.5	700	103.8	16	30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 除外 ー社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報 (その他) に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期1Q	47,800,580株	23年3月期	47,800,580株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,864,724株	23年3月期	4,863,472株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期1Q	42,936,508株	23年3月期1Q	42,956,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産実績 .....	11
(2) 受注実績 .....	11
(3) 販売実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所被災による被害拡大の影響を受けて生産活動が停滞、縮小し、円高も加わって外需にも陰りが見えるなどやや悪化傾向となりました。このような環境のなかで当社は新たな中期経営計画をスタートさせ、当年度を当企業グループを高収益企業にする基盤整備の年と位置づけて積極的な施策を推進してまいりました。

グループ会社、生産拠点、生産設備を含めたチノーグループとして全体最適の効率の良い体制を築くべく、全計装を集結した藤岡事業所においては計装工場の増床を計画し、久喜事業所においては温度センサの一貫生産ラインの構築を進めました。また、子会社の東京精工株式会社を10月1日付にて当社に吸収合併し、放射温度計を中核とする商品分野において技術開発や販売面のシナジーを高めるとともに、経営資源の集約化、業務面の効率化により収益力の強化を図ることといたしました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は4,061百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。利益面につきましては営業利益は156百万円(前年同四半期は営業損失106百万円)、経常利益は157百万円(前年同四半期は経常損失106百万円)、四半期純利益は32百万円(前年同四半期は四半期純損失113百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①計測制御機器

売上高は1,556百万円(前年同期比20.0%増)、セグメント利益(営業利益)は257百万円(前年同期比53.5%増)であります。

#### ②計装システム

売上高は『計装システム』は1,390百万円(前年同期比81.3%増)、セグメント利益(営業利益)は74百万円(前年同期は営業損失36百万円)であります。

#### ③センサ

売上高は893百万円(前年同期比9.6%増)、セグメント利益(営業利益)は133百万円(前年同期比46.2%増)であります。

#### ④その他

修理・サービス等の売上高は219百万円(前年同期比1.0%減)で、セグメント利益(営業利益)は36百万円(前年同期比298.7%増)であります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて248百万円減少し、20,279百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、13,819百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加281百万円、受取手形及び売掛金の減少487百万円、有価証券の減少398百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、6,459百万円となりました。このうち有形固定資産は減価償却費の計上等により138百万円減となりました。投資その他の資産は投資有価証券の増加63百万円がありました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて86百万円減少し、6,900百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、4,908百万円となりました。主な減少要因は支払手形及び買掛金の減少126百万円等であります。

固定負債は、退職給付引当金等の減少があり前連結会計年度末に比べ45百万円減少し1,991百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ161百万円減少し、13,379百万円となりました。剰余金の配当214百万円による減少等の結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、震災の影響や原発被災に伴う電力不足等の懸念材料はあるものの、概ね計画通り推移しており、現時点では平成23年5月13日に発表いたしました業績予想通りであります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社における、材料の評価方法は、従来、先入先出法によっておりましたが、当連結会計年度より移動平均法に変更しております。これは、生産管理システムの見直しを契機に、リアルタイムで原価管理を実施、また価格変動による損益計算書への影響を平準化することにより、より適正なたな卸資産の評価及び期間損益の計算を行うことが目的であります。

当該会計方針の変更は、前連結会計年度まで材料の評価方法について先入先出法を採用しており、システムで保存している単価記録は順次更新され移動平均法による単価情報の入手は実務上不可能なため、前連結会計年度末の材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ227千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,746,216	4,095,353
受取手形及び売掛金	5,344,620	4,856,642
有価証券	1,098,794	700,211
商品及び製品	976,145	1,123,892
仕掛品	886,986	863,287
原材料及び貯蔵品	1,293,842	1,451,112
その他	624,302	738,590
貸倒引当金	△8,638	△9,118
流動資産合計	13,962,269	13,819,971
固定資産		
有形固定資産	3,557,087	3,418,115
無形固定資産		
のれん	265,905	251,960
その他	316,153	300,749
無形固定資産合計	582,058	552,710
投資その他の資産		
その他	2,426,582	2,489,068
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,426,581	2,489,066
固定資産合計	6,565,726	6,459,893
資産合計	20,527,996	20,279,864
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,113,236	2,986,299
短期借入金	759,209	682,277
未払法人税等	158,177	97,008
賞与引当金	304,996	189,138
その他	613,813	953,687
流動負債合計	4,949,433	4,908,412
固定負債		
退職給付引当金	1,490,073	1,461,605
役員退職慰労引当金	170,399	179,365
その他	376,919	350,713
固定負債合計	2,037,392	1,991,684
負債合計	6,986,826	6,900,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,072,140	4,072,140
利益剰余金	6,285,935	6,100,424
自己株式	△1,456,307	△1,456,560
株主資本合計	13,193,796	13,008,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56,452	△11,947
為替換算調整勘定	△265,221	△238,315
その他の包括利益累計額合計	△321,673	△250,262
少数株主持分	669,047	621,997
純資産合計	13,541,170	13,379,767
負債純資産合計	20,527,996	20,279,864



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,101,571	4,061,117
売上原価	2,137,665	2,762,392
売上総利益	963,905	1,298,725
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	461,113	472,201
賞与引当金繰入額	60,435	77,463
退職給付費用	38,256	34,641
役員退職慰労引当金繰入額	7,595	8,965
研究開発費	72,478	95,784
その他	430,677	453,582
販売費及び一般管理費合計	1,070,557	1,142,640
営業利益又は営業損失(△)	△106,652	156,085
営業外収益		
受取利息	2,875	10,735
受取配当金	8,193	10,425
その他	14,972	11,612
営業外収益合計	26,041	32,773
営業外費用		
支払利息	3,675	2,979
寄付金	1,970	10,905
為替差損	13,108	8,891
その他	7,073	8,216
営業外費用合計	25,828	30,993
経常利益又は経常損失(△)	△106,438	157,865
特別利益		
投資有価証券償還益	—	3,766
その他	2,536	795
特別利益合計	2,536	4,561
特別損失		
固定資産処分損	368	70,588
その他	2,124	9,610
特別損失合計	2,492	80,198
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,395	82,227
法人税等	△11,439	39,244
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,955	42,982
少数株主利益	18,910	10,288
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,866	32,694

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△94,955	42,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,827	44,505
為替換算調整勘定	△138,515	△11,982
その他の包括利益合計	△183,342	32,522
四半期包括利益	△278,298	75,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△297,209	104,106
少数株主に係る四半期包括利益	18,910	△28,600

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,297,319	767,220	815,070	2,879,609	221,962	3,101,571
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,297,319	767,220	815,070	2,879,609	221,962	3,101,571
セグメント利益又は損失 (△)	168,098	△36,133	91,640	223,605	9,050	232,655

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	223,605
「その他」の区分の利益	9,050
全社費用(注)	△339,307
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△106,652

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機 器	計 装 シシステム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,556,929	1,390,918	893,529	3,841,376	219,741	4,061,117
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,556,929	1,390,918	893,529	3,841,376	219,741	4,061,117
セグメント利益	257,975	74,418	133,966	466,359	36,081	502,442

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりま  
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	466,359
「その他」の区分の利益	36,081
全社費用 (注)	△346,356
四半期連結損益計算書の営業利益	156,085

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,883,309	+36.0
計装システム	1,131,739	+185.0
センサ	820,405	+23.2
その他	87,132	△0.5
合計	3,922,585	+54.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、見込販売価額で示してあります。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,675,971	+20.4	734,003	+27.4
計装システム	1,782,839	+17.0	2,234,322	+19.5
センサ	1,083,305	+15.1	645,098	+56.3
その他	201,262	△13.2	77,386	△12.2
合計	4,743,377	+16.0	3,690,809	+25.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,556,929	+20.0
計装システム	1,390,918	+81.3
センサ	893,529	+9.6
その他	219,741	△1.0
合計	4,061,117	+30.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。